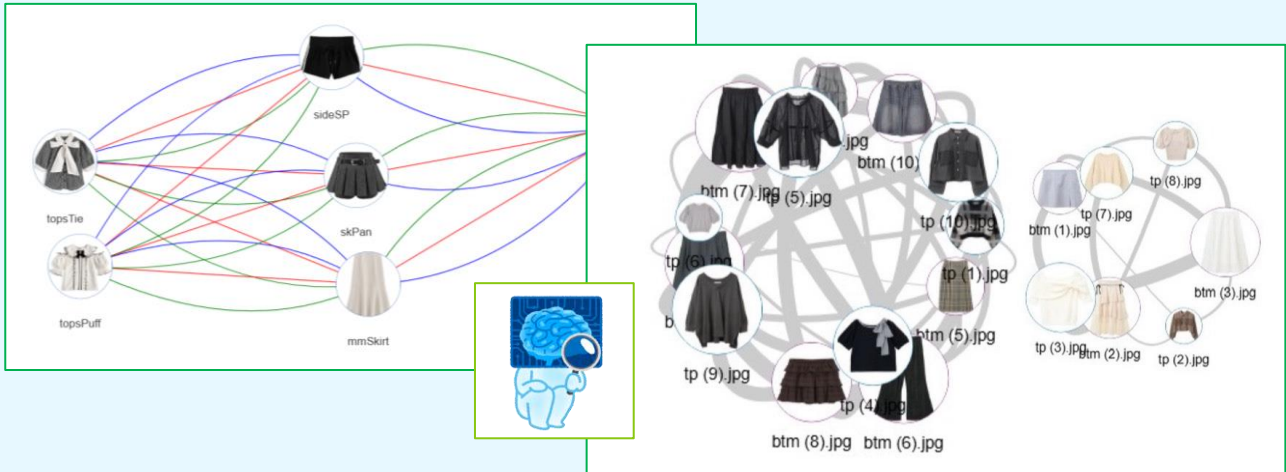


ファッションコーディネートに対する 大規模視覚言語モデルを用いた分析と可視化



●目的：

皆さんの中には、日々のコーディネートのことでも悩んでいる人がいるかもしれません。悩みが尽きないのは、「知識が体系化されていないから」ということが考えられます。上の左図のように、アイテム間の関係がどれも一定になっていて、よくも悪くも評価ができないわけです。

さて、皆さんもご存じの AI は、画像に関する質問にも答えられます。例えば、ブラウスとスカートの画像を与えて、その関係を説明できます。この「説明」のために使われるモデルのことを『大規模視覚言語モデル（VLM）』と言います。

本研究は、この VLM を利用して、アイテム間の関係を分析します。『トレンド感が合っていますか？』、『色の相性はよいですか？』等、皆さんの自由な質問に答えさせることで分析を行い、上の右図のように、関係性の視覚化を試みます。

●日程：

1日目：8月1日（土） 13:00～17:00

2日目：8月2日（日） 13:00～17:00

担当教員：智能工学専攻 黒澤 義明

このような操作をすることで、似たアイテムを近くに寄せたり、着こなしやすいアイテムを近くに配置したりということができるようになります。

●学べること：

- ・python からの VLM 利用法
- ・ファッションアイテム関係の数値化（グラフ化）
- ・グラフの視覚化

●対象者：

AI やファッションに興味がある人。

内容は **プログラミング未経験者向け** です。

※ python を用いた操作をしますが、一切プログラムの中身には触れません。